



まあちゃんのながいかみ

たかどのほうこ さく 福音館書店

タカト

髪の短いまあちゃんは、友だちに「髪をすつとすつと、すうーつとのぼすよ」と言いました。「へえ、どれくらい?」と聞かれて、まあちゃんの想像の世界がどんどん広がっていきます。ユーモアに富んだ絵本です。

まっくらネリノ

ヘルガ=ガルラー さく やがわすみこ やく 偕成社

カルラ

「ぼくはこんなまっくらろくろだろ、暗闇ならば誰にも見えやしない」兄弟はみんな色とりどりのきれいな鳥なのに、ネリノだけは真っ黒けです。いつも仲間はずれにされているネリノでしたが、あるとき事件がおこって……。



まんげつのよるまでまちなさい

マーガレット・ワイズブラウン さく ガース・ウィリアムズ え まつおかきょうこ やく ベンギン社

ウイリ

まだ夜を見たことのないあなぐまぼうやは、おかあさんにいろいろたずねます。でもおかあさんは、「まんげつのよるまでまちなさい」って言うばかり。おかあさんの歌を聞きながら、ぼうやはその時をじっと待ちます。

むかでのいしゃむかえ

飯野和好 さく 福音館書店

イノ

虫たちが集まって飲んだり食べたりしているときのこと。パッタが腹痛をおこしたので、医者を呼ぶことにしました。足のたくさんあるムカデが一番早かろう……ということになり、医者を迎えに出かけました。ところが、いくら待っても医者が来ません。



ムッシュ・ムニエルを
ごしょうかいします



ムッシュ・ムニエルをごしょうかいします

佐々木マキ 絵本館

ササキ

やぎのムッシュ・ムニエルは魔術師。子どもをひとりざらっていて、弟子にしようと町へやってきました。ムッシュ・ムニエルの呪文で変な魚の形になった小さな瓶は、元気そうな少年をつかまえたのですが……。

めっきらもっきらどおんどん

長谷川摂子 作 ふりやなな 画 福音館書店

フリヤ

遊ぶ友だちが見つからないかたが、お宮で「めっきらもっきらどおんどん」と、めちゃくちゃに歌ってみると、ばけものが現れました。ゆかいなばけものたちとの楽しい時間が過ぎていきます。ふと気がつくと……。



もぐらとずぼん

エドアルド・ベチシカ ぶん スデネック・ミレル え うちだりさこ やく 福音館書店

ミレル

もぐらは、大きなポケットのついた青いズボンが干してあるのを見つけ、欲しくてたまらなくなります。もぐらは、森のみんなに協力してもらいながら、ズボンを作ることにしました。チェコの子どもたちに愛され続けている、もぐらくんの絵本です。

もりのなか

マリー・ホール・エッツ ぶん・え まさきりこ 訳 福音館書店

エッツ

紙のぼうしをかぶり、ラッパを吹きながら森へ散歩に出かけたぼく。ライオンやぞう、くまなど、次々と動物がついてきました。みんなで楽しく遊ぶのですが、かくれんぼの途中で動物たちは消えてしまいます。



やこうれっしゃ

西村繁男 さく 福音館書店

ニシム

文章のないこの絵本の舞台は、上野発金沢行きの夜行列車。ホームで見送る人、車内で弁当を食べている人、コートを顔にかぶって寝ている人……。徐々に夜が更けて、いつのまにか窓の外には、雪が降ってきました。

やねうらおぼけ

マーサ=メイヤー さく いまえよしと やく 偕成社

メイヤ

田舎暮らしのあたしの家には、やねうらにおぼけがいるの。パパもママも信じないから、おぼけをとつかまえて二人に見せることにしたわ。やっと見つけたそいつは、あたしの部屋から持ってきたくまちゃんを放さなくて……。

やねうらおぼけ



ちょっとひとやすみ ⑧

言葉の大切さ が再認識され始めています。読み聞かせは、日本語を取得する力が伸び始める頃に、耳から言葉を身につけることができます。絵本には選りすぐりの言葉が並んでいます。たくさんの言葉を身につけた子どもは、自分の気持ちを的確な言葉で表現できる青少年に成長していきます。さらに、言葉と一緒に、お父さん・お母さんのあふれる愛情も子どもの心に届くことを付け加えておきます。

